

平成 29 年度 学校評価報告書 (目標設定)

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの確かな学力の育成と進路希望の実現に向け、学年制普通科としての教育課程の整備に取り組む。</p> <p>②生徒の課題発見・解決力及び、主体的に学ぶ意欲を高めることを目指し、組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>①学力の向上と進路希望の実現に向けた教育課程を編成し、生徒の学習意欲や探求心を高める環境を提供する。</p> <p>②授業改善を進め、基礎学力の定着と主体的な学習の取組を支援する。</p>	<p>①(1)本年度の教育課程の変更に伴い、生徒の適切な科目選択を支援するとともに、学力向上のための授業時間確保を図る。また、次期学習指導要領の理解を深める。</p> <p>(2)新たな「高等学校基礎学力テスト(仮称)」・「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の導入に向けた研究を進める。</p> <p>②(1)教員相互の授業参観・研修会の実施と「生徒による授業評価」の有効活用を進める。</p> <p>(2)「定期テスト前のフォローアップ週間」「夏期講習」を計画的に実施する。</p>	<p>①(1)授業時間が確保され、生徒の学力・学習意欲の向上が見られたか。また、選択科目の説明会を計画的かつ効果的に実施できたか。(「学校に関するアンケート(以下『アンケート』という)生徒満足度50%以上)</p> <p>(2)高大接続改革の情報収集と検討のための体制ができたか。</p> <p>②(1)授業参観者数を増加させることができたか。</p> <p>(2)「生徒による授業評価」の有効活用ができたか。(「生徒による授業評価」満足度80%以上)</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①生徒の豊かな人間性・社会性を培うために、規範意識を育成するとともに、社会の一員として自他を尊重し、自身の将来像を描く力を育てる。</p> <p>②生活全般の安全意識の向上に向けた取組みを進め様々な課題に対し、解決に向け取り組む意志や実践していく力を育てる。</p> <p>③各種機関・保護者と連携しながら生徒理解を深め、教育相談・支援体制の充実を図る。</p>	<p>①生徒一人ひとりの豊かな心を育み、規範意識・自己教育力を育てる。</p> <p>②登下校の安全意識・交通安全意識の向上を図る。</p> <p>③個に応じた支援・相談体制を充実させる。</p>	<p>①(1)学校行事の精選、部活動の校内整備と充実に努める。</p> <p>(2)遅刻・清掃・挨拶に対する生徒の意識向上をはかる。</p> <p>②(1)不審者や事故の情報を提供する。</p> <p>(2)「いじめ防止基本方針」及び「同対策マニュアル」に基づき未然防止に向けた取組みを行う。</p> <p>③スクールカウンセラーや専門機関との連携、各種講演会の開催を通してきめ細かな教育支援を行う。</p>	<p>①(1)学校行事と部活動における生徒の満足度が昨年度を上回れたか。</p> <p>(2)遅刻数が減少し、校内美化が進み、挨拶ができるようになったか。</p> <p>②(1)犯罪被害や交通事故の防止に効果を挙げられたか。(『アンケート』生徒満足度50%以上)</p> <p>(2)いじめ防止に向けた方針及び取組内容が職員に周知され組織的にいじめに対応できたか。(『アンケート』生徒満足度50%以上)</p> <p>③十分な生徒相談・教育支援を行えたか。(『アンケート』生徒満足度50%以上)</p>

3	進路指導・支援	生徒一人ひとりが自己の生き方、あり方についてとらえることができるよう、計画的・継続的なキャリア教育を推進する。	①全教科で取り組むキャリア教育実践プログラムを実施し、検証していく。 ②職業観・勤労観を育てる。	①キャリア教育において身につけるべき諸能力を育成することを意識した教育活動の展開に努める。 ②各学年に応じた進路ガイダンスを実施する。	①教育活動の様々な場面で社会生活・職業生活に必要な技術・技能を育成できたか。（『アンケート』生徒満足度 50%以上） ②生徒が自己の生き方やあり方について考えるのに有効な機会を十分与えられたか。
4	地域等との協働	①開かれた学校づくりを進め、家庭や地域と情報を交換する中で、相互理解と協力体制を確立しさらに進展させる。 ②HPや「お知らせメール」による、タイムリーな情報発信により地域からの理解を得るよう努める。	①学校行事全般を通して地域や保護者との連携を深め、開かれた学校づくりに努める。 ②学校の情報を確実に発信し、地域や保護者からの意見要望を参考に、より良い学校づくりを行う。	①学校へ行こう週間、PTA活動、保護者懇談会、学校行事、部活動等を通して、地域・保護者との連携を図る。 ②(1)生徒・保護者への配布物、HPの頻繁な更新、「西高お知らせメール」などで本校の活動の情報発信を行う。 (2)保護者、地域からの情報を生かし本校の発展に努める。	①本校の『アンケート』保護者満足度が昨年度を上回ったか。 ②(1)本校HPのアクセス数、「西高お知らせメール」の登録数が昨年度より上回ったか。 (2)保護者・地域からの情報を生かし改善がなされたか。
5	学校管理 学校運営	①事故防止の徹底を図るとともに、教職員が前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。 ②生徒の防災意識を高め、安全対策を強化する。 ③耐震化工事を計画的に進めるとともに、事故防止に努める。	①各種校内研修（OJT）、事故防止会議を充実させる。 ②生徒の防災意識を高める。 ③耐震化工事を関係機関と十分な連絡調整を行い、計画的かつ安全に推進する。	①各種校内研修及び事故防止会議の充実を図り、教職員が前向きに課題に取り組める学校を形成する。 ②防災訓練を実施し、生徒及び職員の動きを確認するとともに、防災意識を高める。 ③西棟から仮設校舎への移転、及び西棟の耐震化工事を計画的かつ安全に推進する	①各種校内研修5回及び事故防止会議10回以上を実施する。 ②計画通りに防災訓練を実施することができ、生徒及び職員の防災意識は高まったか。 ③関係機関と連携しながら、校内移転及び耐震化工事が計画的かつ安全に実施できたか。